

令和7年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《一般枠》（**ピンク色のセルは、令和6年度要望調査から変更のあった個所です**）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値） 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい							○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値と単位	現状値・目標値の ②の値と単位	現状値・目標値 ③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電力安定供給のための機械装置	家畜飼養管理機械装置	搾乳関係機械装置	衛生管理 高度化機械装置	畜産物管理・加工機械装置	飼料播種・追播用機械装置	飼料収穫・調製用機械装置	その他飼料生産関係機械装置	スマート農業関連機械装置	草地等管理用機械装置	飼料調製用機械装置	飼料用米調製用機械装置	放牧関連機械装置	飼料保管装置	エコフィード調製・給与関係装置	堆肥調製散布関係機械装置	その他（知事特認関係）	
酪農	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（1頭あたり年間産乳量） 円（農業所得・営業利益）	頭（搾乳牛頭数） ※参加申請時に根拠資料を提出	円/kg（単価）			⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（生乳年間出荷数量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（生乳販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（経産牛年間平均飼養頭数）	- ②÷③ ① -		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（生乳年間出荷数量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（生乳販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（経産牛年間平均飼養頭数）	- ②÷③ ① -		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	4 事故率の低減による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（生乳年間出荷数量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（生乳販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（経産牛年間平均飼養頭数）	- ②÷③ ① -		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	5 堆肥販売額の増 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（堆肥年間販売数量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（堆肥販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（経産牛年間平均飼養頭数）	- ②÷③ ① -																	■	○			
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	- 円（農業所得・営業利益）	円/年（加工品販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（経産牛年間平均飼養頭数）	- ②÷③ ① -							○											○			
	7 預託頭数の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	頭/年（年間預託頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（預託料） ※参加申請時に根拠資料を提出				⊖	⊖	⊖	⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖			
	8 1頭当たり乳量の増加による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（生乳年間出荷数量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（生乳販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（経産牛年間平均飼養頭数）	- ②÷③ ① -		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	9 乳質改善による販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（生乳） 農業所得・営業利益	kg/年（生乳年間出荷数量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（生乳販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（経産牛年間平均飼養頭数）	- ②÷③ ① -		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -	○																	○			
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -	○			○														○			
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -				○														○			
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -																		○			
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			① -		○	○								○							○			
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			① -			○															○			
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			① -						○												○			
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		①×② -								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			① -														○				○			
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			① -				○												○		○			
	21 搾乳作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -				○		○												○			
	22 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

令和7年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《一般枠》（ピンク色のセルは、令和6年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値） 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい							○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値と単位	現状値・目標値の ②の値と単位	現状値・目標値 ③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料収 穫・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製・ 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	その他 （知事特 認関係）	
肉用牛 （肥育）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛）	頭/年（年間販売頭数）	円/頭（販売単価）			⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛）	頭/年（肥育牛年間販売頭数）	円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数）	②÷①	②÷③	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛）	頭/年（肥育牛年間販売頭数）	円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数）	②÷①	②÷③	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	4 事故率の低減による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛）	頭/年（肥育牛年間販売頭数）	円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数）	②÷①	②÷③	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	5 堆肥販売額の増 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（堆肥）	t/年（堆肥年間販売数量）【参考】	円/年（堆肥販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数）	－	②÷③																■	○			
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品）	－	円/年（加工品販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数）	－	②÷③						○											○			
	7 預託頭数の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数	頭/年（年間預託頭数）	円/頭（預託料）				⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		
	8 肉質向上による販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛）	頭/年（肥育牛年間販売頭数）	円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数）	②÷①	②÷③	○	○	○									○	○				○			
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛）	頭/年（肥育牛年間販売頭数）	円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数）	②÷①	②÷③	○	○	○									○	○				○			
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－	○																○			
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－	○			○													○			
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－				○													○			
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－																○	○			
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			①	－		○	○								○						○			
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			①	－			○														○			
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			①	－					○												○			
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		①×②	－							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			①	－													○				○			
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			①	－			○							○					○		○			
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			①	－										○							○			
	22 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

■は以下の機械装置のみ

- ・堆肥造粒機
- ・堆肥袋詰め機
- ・コンベア
- ・秤量機

令和7年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《一般枠》（**ピンク色のセルは、令和6年度要望調査から変更のあった個所です**）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値） 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい							○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値と単位	現状値・目標値の ②の値と単位	現状値・目標値 ③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電力安定供給のため の機械装置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機械装置	畜産物管理・加工 機械装置	飼料播種・追播 用機械装置	飼料収穫・調製 用機械装置	その他飼料生産関係 機械装置	スマート農業関連機械装置	草地等管理用機械装置	飼料調製用機械装置	飼料用米調製用機械装置	放牧関連機械装置	飼料保管装置	エコフィード調製・給与関係装置	堆肥調製散布関係 機械装置	その他（知事特認関係）	
肉用牛 （一貫）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出			⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（肥育牛年間販売頭数） 円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数） ②÷①	②÷③	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（肥育牛年間販売頭数） 円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数） ②÷①	②÷③	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	4 事故率の低減による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（肥育牛年間販売頭数） 円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数） ②÷①	②÷③	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	5 堆肥販売額の増 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（堆肥年間販売数量）【参考】 円/年（堆肥販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数） －	②÷③																		■	○			
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	－ 円/年（加工品販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数） －	②÷③								○											○			
	7 預託頭数の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	頭/年（年間預託頭数） 円/頭（預託料）			⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖			
	8 肉質向上による販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（肥育牛年間販売頭数） 円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数） ②÷①	②÷③	○	○	○											○	○				○			
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肥育牛） 農業所得・営業利益	頭/年（肥育牛年間販売頭数） 円/年（肥育牛販売総額）	頭（肥育牛年間平均飼養頭数） ②÷①	②÷③	○	○	○											○	○				○			
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	①×②	－	○																	○			
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	①×②	－	○			○														○			
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	①×②	－				○														○			
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	①×②	－																		○	○		
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）		①	－		○	○								○							○			
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）		①	－			○															○			
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）		①	－				○														○			
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）	①×②	－									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）	①×②	－									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）		①	－														○				○			
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）		①	－				○							○						○	○			
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）		①	－											○							○			
	22 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

■は以下の機械装置のみ
・堆肥造粒機
・堆肥袋詰め機
・コンベア
・秤量機

■は以下の機械装置のみ

- ・堆肥造粒機
- ・堆肥袋詰め機
- ・コンベア
- ・秤量機

令和7年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《一般枠》（**ピンク色のセルは、令和6年度要望調査から変更のあった個所です**）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値） 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい							○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値 ①の値と単位	現状値・目標値 ②の値と単位	現状値・目標値 ③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電力安定供給のための機械装置	家畜飼養管理機械装置	搾乳関係機械装置	衛生管理 高度化機械装置	畜産物管理・加工機械装置	飼料播種・追播用機械装置	飼料収穫・調製用機械装置	その他飼料生産関係機械装置	スマート農業関連機械装置	草地等管理用機械装置	飼料調製用機械装置	飼料用米調製用機械装置	放牧関連機械装置	飼料保管装置	エコフィード調製・給与関係装置	堆肥調製散布関係機械装置	その他（知事特認関係）	
肉用牛 （繁殖）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（子牛） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出			⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（子牛） 農業所得・営業利益	頭/年（子牛年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（子牛販売総額） 頭（成雌牛年間平均飼養頭数）	②÷① ②÷③	②÷① ②÷③	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（子牛） 農業所得・営業利益	頭/年（子牛年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（子牛販売総額） 頭（成雌牛年間平均飼養頭数）	②÷① ②÷③	②÷① ②÷③	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	4 事故率の低減による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（子牛） 農業所得・営業利益	頭/年（子牛年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（子牛販売総額） 頭（成雌牛年間平均飼養頭数）	②÷① ②÷③	②÷① ②÷③	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	5 堆肥販売額の増 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（堆肥年間販売数量）【参考】 円/年（堆肥販売総額）	頭（成雌牛年間平均飼養頭数）	－ ②÷③	① ①																	■	○			
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	－ 円（農業所得・営業利益）	円/年（加工品販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	－ ①	②÷③ －							○											○			
	7 預託頭数の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	頭/年（年間預託頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（預託料） ※参加申請時に根拠資料を提出			⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖			
	8 肉質向上による販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（子牛） 農業所得・営業利益	頭/年（子牛年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（子牛販売総額） 頭（成雌牛年間平均飼養頭数）	②÷① ②÷③	②÷① ②÷③	○	○	○										○	○				○			
	9 飼養期間短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（子牛） 農業所得・営業利益	頭/年（子牛年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（子牛販売総額） 頭（成雌牛年間平均飼養頭数）	②÷① ②÷③	②÷① ②÷③	○	○	○										○	○				○			
	10 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－	○																○			
	11 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－	○			○													○			
	12 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－				○													○			
	13 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－																	○	○		
	14 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			①	－		○	○							○							○			
	15 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			①	－			○														○			
	16 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			①	－					○												○			
	17 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		①×②	－							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	18 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	19 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			①	－													○				○			
	20 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			①	－			○							○						○	○			
	21 稲わら（飼料用）の利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			①	－									○								○			
	22 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

■は以下の機械装置のみ

- ・堆肥造粒機
- ・堆肥袋詰め機
- ・コンベア
- ・秤量機

令和7年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《一般枠》（**ピンク色のセルは、令和6年度要望調査から変更のあった個所です**）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値） 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい							○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値 ①の値と単位	現状値・目標値 ②の値と単位	現状値・目標値 ③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機 械装置	畜産物管 理・加工 機械装置	飼料播 種・追播 用機械装 置	飼料収 穫・調製 用機械装 置	その他飼 料生産関 係機械装 置	スマート農 業関連機 械装置	草地等管 理用機械 装置	飼料調製 用機械装 置	飼料用米 調製用機 械装置	放牧関連 機械装置	飼料保管 装置	エコフィ ード調製・ 給与関係 装置	堆肥調製 散布関係 機械装置	その他 （知事特 認関係）	
養 豚	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出			⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（肉豚年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（肉豚販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（種雌豚年間平均飼養頭数） ②÷①	②÷③ ①－	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（肉豚年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（肉豚販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（種雌豚年間平均飼養頭数） ②÷①	②÷③ ①－	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	4 事故率の低減による出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（肉豚年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（肉豚販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（種雌豚年間平均飼養頭数） ②÷①	②÷③ ①－	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	5 堆肥販売額の増 堆肥の生産効率の改善	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（堆肥年間販売数量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（堆肥販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（種雌豚年間平均飼養頭数） －	②÷③ ①－																	■	○			
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	－ 円（農業所得・営業利益）	円/年（加工品販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（種雌豚年間平均飼養頭数） －	②÷③ ①－							○											○			
	7 預託頭数の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	預託頭数 農業所得・営業利益	頭/年（年間預託頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/頭（預託料） ※参加申請時に根拠資料を提出				⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		
	8 母豚1頭当たりの出荷数量の増	単位頭数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（肉豚） 農業所得・営業利益	頭/年（肉豚年間販売頭数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（肉豚販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	頭（種雌豚年間平均飼養頭数） ②÷①	②÷③ ①－	○	○	○	○		○				○							○	○	○		
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－	○																	○		
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－	○			○														○		
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－				○														○		
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－																	○	○		
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			①	－		○	○															○		
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			①	－			○															○		
	15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			①	－					○													○		
	16 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		①×②	－							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	17 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	18 放牧頭数・面積の拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			①	－												○						○		
	19 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			①	－			○													○		○		
	20 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

■は以下の機械装置のみ

- ・堆肥造粒機
- ・堆肥袋詰め機
- ・コンベア
- ・秤量機

令和7年度 導入の必要性和成果目標、補助対象機械装置一覧《一般枠》（ピンク色のセルは、令和6年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値） 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい							○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値 ①の値と単位	現状値・目標値 ②の値と単位	現状値・目標値 ③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	1 飼料給与 関係機械 装置	2 畜舎温度 制御機械 装置	3 省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	4 家畜飼養 管理機械 装置	5 搾乳関係 機械装置	6 衛生管理 高度化機 械装置	7 畜産物管 理・加工 機械装置	8 飼料播 種・追播 用機械装 置	9 飼料収 穫・調製 用機械装 置	10 その他飼 料生産関 係機械装 置	11 スマート農 業関連機 械装置	12 草地等管 理用機械 装置	13 飼料調製 用機械装 置	14 飼料用米 調製用機 械装置	15 放牧関連 機械装置	16 飼料保管 装置	17 エコフィ ード調製・ 給与関係 装置	18 堆肥調製 散布関係 機械装置	19 その他 （知事特 認関係）	
採 卵 鶏	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（年間販売量） 円（農業所得・営業利益）	円/kg（販売単価） ※参加申請時に根拠資料を提出			⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（鶏卵年間販売量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（鶏卵販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（成鶏年間平均飼養羽数）	－ ①	(2÷ ③)× 1000 －	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（鶏卵年間販売量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（鶏卵販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（成鶏年間平均飼養羽数）	－ ①	(2÷ ③)× 1000 －	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 事故率の低減による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（鶏卵年間販売量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（鶏卵販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（成鶏年間平均飼養羽数）	－ ①	(2÷ ③)× 1000 －	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5 堆肥販売額の増 堆肥の生産効率の改善	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（堆肥） 農業所得・営業利益	t/年（堆肥年間販売数量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（堆肥販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（成鶏年間平均飼養羽数）	－ ①	(2÷ ③)× 1000 －																		■	○	
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	－ 円（農業所得・営業利益）	円/年（加工品販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（成鶏年間平均飼養羽数）	－ ①	(2÷ ③)× 1000 －								○											○	
	7 採卵率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（鶏卵年間販売量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（鶏卵販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（成鶏年間平均飼養羽数）	－ ①	(2÷ ③)× 1000 －	○	○	○	○		○													○	
	8 死廃率の低下	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	販売額（卵） 農業所得・営業利益	kg/年（鶏卵年間販売量）【参考】 円（農業所得・営業利益）	円/年（鶏卵販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（成鶏年間平均飼養羽数）	－ ①	(2÷ ③)× 1000 －		○	○				○												○	
	9 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－	○																		○	
	10 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－	○			○															○	
	11 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－				○															○	
	12 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－																		○	○	
	13 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			①	－		○	○								○								○	
	14 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減	光熱・動力費	円/年（光熱・動力費）			①	－			○																○	
	15 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減	衛生費	円/年（衛生費）			①	－					○														○	
	16 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価）		①×②	－														○			○	○		
	17 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－														○			○	○		
	18 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減	飼料費	円/年（総飼料費）			①	－				○												○			○	
	19 集卵作業の効率化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－				○			○												○	
	20 検卵・選卵作業の効率化	生産コストの5%(8%)以上の削減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－				○			○												○	
	21 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

■は以下の機械装置のみ

- ・堆肥造粒機
- ・堆肥袋詰め機
- ・コンベア
- ・秤量機

令和7年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《一般枠》（ピンク色のセルは、令和6年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値） 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい							○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値と単位	現状値・目標値の ②の値と単位	現状値・目標値 ③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電力安定供給のための 機械装置	家畜飼養 管理機械 装置	搾乳関係 機械装置	衛生管理 高度化機械装置	畜産物管理・加工 機械装置	飼料播種・追播 用機械装置	飼料収穫・調製 用機械装置	その他飼料生産関係機械装置	スマート農業関連機械装置	草地等管理用機械装置	飼料調製用機械装置	飼料用米調製用機械装置	放牧関連機械装置	飼料保管装置	エコフィード調製・給与関係装置	堆肥調製散布関係機械装置	その他（知事特認関係）	
その他家畜（やぎ、めん羊、馬）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量（肉）の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%)以上の増加	出荷数量（肉用）	頭/年（出荷頭数）	円/頭（販売単価）			⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		

■は以下の機械装置のみ

- ・堆肥造粒機
- ・堆肥袋詰め機
- ・コンベア
- ・秤量機

令和7年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《一般枠》（ピンク色のセルは、令和6年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値） 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用ませんが参考として入力して下さい							○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値と単位	現状値・目標値の ②の値と単位	現状値・目標値 ③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
									飼料給与 関係機械 装置	畜舎温度 制御機械 装置	省エネ・電力安定供給のための機械装置	家畜飼養管理機械装置	搾乳関係機械装置	衛生管理高度化機械装置	畜産物管理・加工機械装置	飼料播種・追播用機械装置	飼料收穫・調製用機械装置	その他飼料生産関係機械装置	スマート農業関連機械装置	草地等管理用機械装置	飼料調製用機械装置	飼料用米調製用機械装置	放牧関連機械装置	飼料保管装置	エコフィード調製・給与関係装置	堆肥調製散布関係機械装置	その他（知事特認関係）	
その他家畜（合鴨、うずら）	1 飼養頭羽数の増加による出荷数量の増 ※R7年度～削除	販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	出荷数量 農業所得・営業利益	羽/年（出荷羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/羽（販売価格） ※参加申請時に根拠資料を提出			⊖	⊖	⊖	⊖		⊖		⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖		
	2 分娩間隔の短縮による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	販売額（肉禽・卵） 農業所得・営業利益	羽/年（年間販売羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（年間平均飼養羽数） ②÷① ① -	②÷③ -	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3 受胎率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	販売額（肉禽・卵） 農業所得・営業利益	羽/年（年間販売羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（年間平均飼養羽数） ②÷① ① -	②÷③ -	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	4 事故率の低減による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	販売額（肉禽・卵） 農業所得・営業利益	羽/年（年間販売羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（年間平均飼養羽数） ②÷① ① -	②÷③ -	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	5 堆肥販売額の増 堆肥の生産効率の改善	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	販売額（堆肥） t/年（堆肥年間販売数量）【参考】	円/年（堆肥販売総額） 円（農業所得・営業利益）	羽（年間平均飼養羽数） ※参加申請時に根拠資料を提出	- ① -	②÷③ -																		■	○		
	6 6次化による加工品の販売量・販売額の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	販売額（加工品） 農業所得・営業利益	- 円（農業所得・営業利益）	円/年（加工品販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	- ① -	②÷③ -						○													○		
	7 育成率の向上による出荷数量の増	単位羽数当たり販売額の5%(8%)以上の増加 農業所得又は営業利益の5%(8%以上)の増加	販売額（肉禽・卵） 農業所得・営業利益	羽/年（年間販売羽数） 円（農業所得・営業利益）	円/年（販売総額） ※参加申請時に根拠資料を提出	羽（年間平均飼養羽数） ②÷① ① -	②÷③ -	○	○	○	○		○													○		
	8 給餌作業の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減 労働費	労働費 円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -	○			○																○		
	9 哺乳管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減 労働費	労働費 円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -	○			○																○		
	10 繁殖管理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減 労働費	労働費 円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -				○																○		
	11 ふん尿処理の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減 労働費	労働費 円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×② -																		○	○			
	12 温度制御による畜舎環境の改善	生産コストの5%(8%)以上の削減 光熱・動力費	光熱・動力費 円/年（光熱・動力費）			① -	○			○							○									○		
	13 省エネ	生産コストの5%(8%)以上の削減 光熱・動力費	光熱・動力費 円/年（光熱・動力費）			① -				○																○		
	14 衛生管理の高度化	生産コストの5%(8%)以上の削減 衛生費	衛生費 円/年（衛生費）			① -							○													○		
	15 自給飼料の生産・利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減 飼料費	飼料費 t/年（購入粗飼料量）	円/kg（単価） 円/人/年（労働費）		①×② -														○					○	○		
	16 自給飼料の生産・利用の省力化	生産コストの5%(8%)以上の削減 労働費	労働費 円/人/年			①×② -														○					○	○		
	17 エコフィードの利用拡大	生産コストの5%(8%)以上の削減 飼料費	飼料費 円/年（総飼料費）			① -				○														○		○		
	18 新規に畜産業に取り組むため	※1							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

■は以下の機械装置のみ

- ・堆肥造粒機
- ・堆肥袋詰め機
- ・コンベア
- ・秤量機

令和7年度 導入の必要性と成果目標、補助対象機械装置一覧《一般枠》（ピンク色のセルは、令和6年度要望調査から変更のあった個所です）

飼養 区分	導入の必要性	成果目標の種類	成果目標の算定根拠（現状値・目標値） 【参考】とある項目は現状値・目標値の算定には使用しませんが参考として入力して下さい						○が付いている区分が当該「導入の必要性」で要望できる機械装置の区分ですが、具体的に要望できる機械装置は「対象機械装置一覧（令和5年1月19日現在：未定稿）」を参照してください																		
			算定根拠	現状値・目標値の ①の値と単位	現状値・目標値の ②の値と単位	現状値・目標値 ③の値と単位	現状値 目標値 イ 算式	現状値 目標値 ロ 算式	1 飼料給与 関係機械 装置	2 畜舎温度 制御機械 装置	3 省エネ・電 力安定供 給のため の機械装 置	4 家畜飼養 管理機械 装置	5 搾乳関係 機械装置	6 衛生管理 高度化機 械装置	7 畜産物管 理・加工 機械装置	8 飼料播 種・追播 用機械装 置	9 飼料収 穫・調製 用機械装 置	10 その他飼 料生産関 係機械装 置	11 スマート農 業関連機 械装置	12 草地等管 理用機械 装置	13 飼料調製 用機械装 置	14 飼料用米 調製用機 械装置	15 放牧関連 機械装置	16 飼料保管 装置	17 エコフィ ード調製・ 給与関係 装置	18 堆肥調製 散布関係 機械装置	19 その他 （知事特 認関係）
飼料受託等	1 飼料生産受託面積・飼料生産作業面積の拡大	単位面積当たり販売額の5%増	自給飼料販売額（自給飼料）	－	円/年（自給飼料販売総額）	a（年間販売面積）	－ (②÷ ③)×10								○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	
		受託料収入の5%増	受託料（飼料生産）	円/年（受託料）			①	－								○	○	○								○	
		生産コストの5%減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－								○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
		自給飼料収穫量の5%増	自給飼料収穫量	t/年（収穫量）			①	－								○	○	○	○	○	○	○		○		○	○
	2 TMR生産量の増加	単位面積当たり販売額の5%増	自給飼料販売額（自給飼料）	－	円/年（自給飼料販売総額）	a（年間販売面積）	－ (②÷ ③)×10	○		○											○	○		○	○		○
		営業利益の5%の増加	営業利益	円（営業利益）	※参加申請時に根拠資料を提出		①	－	○		○										○	○		○	○		○
		生産コストの5%減	労働費	円/人/年（労働費）	人（従事者数）		①×②	－	○		○										○	○		○	○		○
		自給飼料利用量の5%増	自給飼料利用量	t/年（利用量）			①	－	○		○										○	○		○	○		○

※1 導入の必要性が「新規に畜産業に取り組むため」の場合

- ・導入の必要性が「新規に畜産業に取り組むため」の場合、成果目標は他の導入の必要性で示されている「成果目標」「算定根拠」から設定したいものを選択してください
 - ・「新規に畜産業に取り組むため」を選択した場合、「現状値」には「0」が自動的に入力され、「増加（削減）率イ」欄には自動的に「皆増」が入力されます
- ※事業要件の「新規」は認定式就農者のことですので、注意して下さい。